



平成27年5月8日

各位

上場会社名 第一屋製パン株式会社
 代表者 代表取締役社長 門脇 宜人
 (コード番号 2215)
 問合せ先責任者 取締役コーポレート本部長兼経理部長 小室 英夫
 (TEL 042-344-7601)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年2月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,400	110	130	100	1.44
今回修正予想(B)	12,100	△120	△50	△30	△0.43
増減額(B-A)	△300	△230	△180	△130	
増減率(%)	△2.4	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年12月期第2四半期)	12,645	326	352	301	4.35

平成27年12月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	25,000	220	260	200	2.89
今回修正予想(B)	24,700	0	80	60	0.87
増減額(B-A)	△300	△220	△180	△140	
増減率(%)	△1.2	—	△69.2	△70.0	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	24,955	302	359	303	4.38

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、売上高は和菓子類の低迷を堅調に伸ばした菓子パン新製品で補ったものの、当初予想より若干下回ると見込んでいます。採算性の良い和菓子が低迷したことにより、営業利益、経常利益、四半期純利益共に予想を下回る見込みとなりました。

通期業績予想においては、引き続き個人消費の低迷、価格の二極化志向の継続が予想されますが、カテゴリ別売上の構成変化への対応と、各諸施策を確実に実行し、収益構造の変革を達成することにより、経常利益、当期純利益は黒字の見込みとなっております。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以上